

## eラーニング市場に関する調査結果 2009

—2008年度はゲーム機向け学習ゲーム一段落も、ネットを使ったラーニングは堅調—

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の要綱にてeラーニングビジネスについて調査を実施した。

1. 調査期間: 2009年1月～3月
2. 調査対象: eラーニングシステム開発・構築・販売事業者、eラーニングコンテンツ開発・製作・販売事業者、eラーニングを介した研修や講義を提供・運営する事業者(具体的には、塾、語学学校、研修事業者等)、学習ソフトウェア開発・製作・販売事業者 等
3. 調査方法: 当社専門研究員による面接取材及び、電話・FAX・eメールによるヒアリングを併用

## &lt;eラーニング市場とは&gt;

本調査では「eラーニング」を「ネットワークとパソコンを利用した学習形態」のみに限定せず、携帯ゲーム機、携帯電話、携帯型デジタル音楽プレイヤー、学習用ソフトウェア(ゲームも含む)、衛星通信等を使用した学習形態を含め、「eラーニング」とした。

なお、本調査結果では、ネットワーク・ラーニングサービス市場(B to B)、ネットワーク・ラーニングサービス市場(B to C)、ソフトウェア・ラーニング市場を合わせた市場全体を「国内eラーニング市場」とし、インターネット・イントラネット等ネットワークを媒介とした学習・研修形態の市場のみを指す場合は「狭義のeラーニング市場」とした。

## 【調査結果サマリー】

## ◆2008年度は、インターネット・イントラネットを使用したラーニングが前年度比 12.7%増の665億円と好調に推移する見込み

2008年度の「国内eラーニング市場」全体の市場規模は、前年度比2.1%減の1,313億円となる見込みである。しかしながら、2008年度のインターネット・イントラネットを媒介とした「狭義のeラーニング市場」の規模は、前年度比12.7%増の665億円と堅調に推移する見込みである。

## ◆景気悪化が市場拡大を阻害するも、中長期的には一定の市場規模を保つ見通し

2008年からの世界的な景気悪化により市場拡大が阻害され、2009年度は前年度比ほぼ横ばいで推移すると予測する。だが、B to Bでは企業の研修コスト削減によるeラーニングへの切り替えが期待され、B to Cでは、携帯ゲーム機での学習スタイルの定着等により、市場は今後も一定の規模を保ちながら推移していく見通しである。

## ◆資料体裁

資料名: 「eラーニングビジネスレポート2009」  
発刊日: 2009年3月30日  
体裁: A4判331頁  
定価: 126,000円(本体価格120,000円 消費税等6,000円)

## ◆株式会社 矢野経済研究所

所在地: 東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長: 水越 孝  
設立: 1958年3月 年間レポート発刊: 約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 管理本部 広報・PRグループ TEL: 03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

表 1. 国内 eラーニング市場規模

●本調査におけるeラーニング市場の分類

分類	詳細	08年度見込 市場規模 (億円)	前年度比	09年度見込 市場規模 (億円)	前年度比
ネットワーク・ラーニング サービス (B to B)	インターネット、イントラネットといったネットワークを介した、法人（もしくは企業内個人）を対象とした研修・教育サービス。	600	111.1%	590	98.3%
LMS (プラットフォーム)	インターネット/イントラネットを介し、法人（もしくは企業内個人）を対象とした研修・教育サービスを支援する（受講管理、教材管理、人材管理等を行う）システムを指す。	65	103.2%	63	96.9%
コンテンツ	法人（もしくは企業内個人）向け学習・研修用コンテンツ。既成のコンテンツとともに、顧客のニーズに応じて受託制作されるコンテンツも含む。また、eラーニングコンテンツ制作支援ソフトウェア（オーサリングツール）も含める。	205	109.0%	200	97.6%
運用・サービス	LMS、eラーニングコンテンツ等を利用して、法人（または企業内個人）向けに提供される研修・教育サービス。また、導入や運用の支援、コンサルティング、保守サービスも含む。	330	114.2%	327	99.1%
ネットワーク・ラーニング サービス (B to C)	ネットワークを用い、個人を対象とした学習サービス。メンターサービスやスクーリング等、付随するサービスも含む。	275	104.6%	280	101.8%
インターネット経由	インターネットを用いた学習サービス。使用ツールとしては、インターネットに接続されたパソコン、携帯電話、携帯型デジタル音楽プレイヤー等が挙げられる。コンテンツのダウンロードサービスも含む。	65	130.0%	80	123.1%
衛星、テレビ電話経由	衛星通信やテレビ電話を用いた学習サービス。	210	98.6%	200	95.2%
ソフトウェア・ラーニング	学習用ソフトウェア全般。「学習」を学校の授業科目に準じたものや、知育系、語学、資格試験対策、ITスキル習得（タイピングソフト等も含める）といったものから、脳トレ、雑学、エクササイズハウツー等、「趣味、エンターテインメント」の要素が強いものまで幅広く含めている。	438	81.4%	437	99.8%
パソコン向け (一部B to Bを含む)	パソコン向け学習ソフト（携帯型デジタル音楽プレイヤー対応のものも含む）。	38	92.7%	37	97.4%
ゲーム機向け	ゲーム機向け学習ソフト。	400	80.5%	400	100.0%
eラーニング市場全体市場規模		1,313	97.9%	1,307	99.5%

注 1: ネットワーク・ラーニングサービスは売上金額ベース、ソフトウェア・ラーニングはメーカー出荷額ベース

注 2: 2008 年度、2009 年度見込値

**【 調査結果の概要 】****1. 市場概況**

08年度のネットワーク・ラーニングサービス市場(B to B)、ネットワーク・ラーニングサービス市場(B to C)、ソフトウェア・ラーニング市場を合わせた国内「国内eラーニング市場」の市場規模は、前年度比 2.1%減の 1,313 億円となる見込みである。

一方、08年度のインターネット・イントラネットを媒介とした「狭義の eラーニング市場」の市場規模は、前年度比 12.7%増の 665 億円と堅調に推移すると考える。

**2. 注目すべき動向**

07年度に市場を牽引したゲーム機向け学習ソフトウェアは、ヒット作の不在や、ブームが一段落して 1 タイトル当たりの売上本数が減少したと推察できること等により、前年度比 19.5%減の 400 億円となる見込みで、それが「国内eラーニング市場」全体を縮小させる要因となった。

しかしながら、08年度の「狭義の eラーニング市場」うち、B to B については大企業を中心に新人研修等の eラーニングが普及していることにより前年度比 11.1%増の 600 億円、B to C については参入事業者やサービスラインナップが増加傾向にあること等により、前年度比 30.0%増の 65 億円と大きく拡大する見込みである。

**3. 将来展望**

09年度は、「国内eラーニング市場」が前年度比 0.5%減の 1,307 億円、「狭義の eラーニング市場」は前年度比 0.8%増の 670 億円とほぼ横ばいと予測し、内訳は図 1 の通りである。

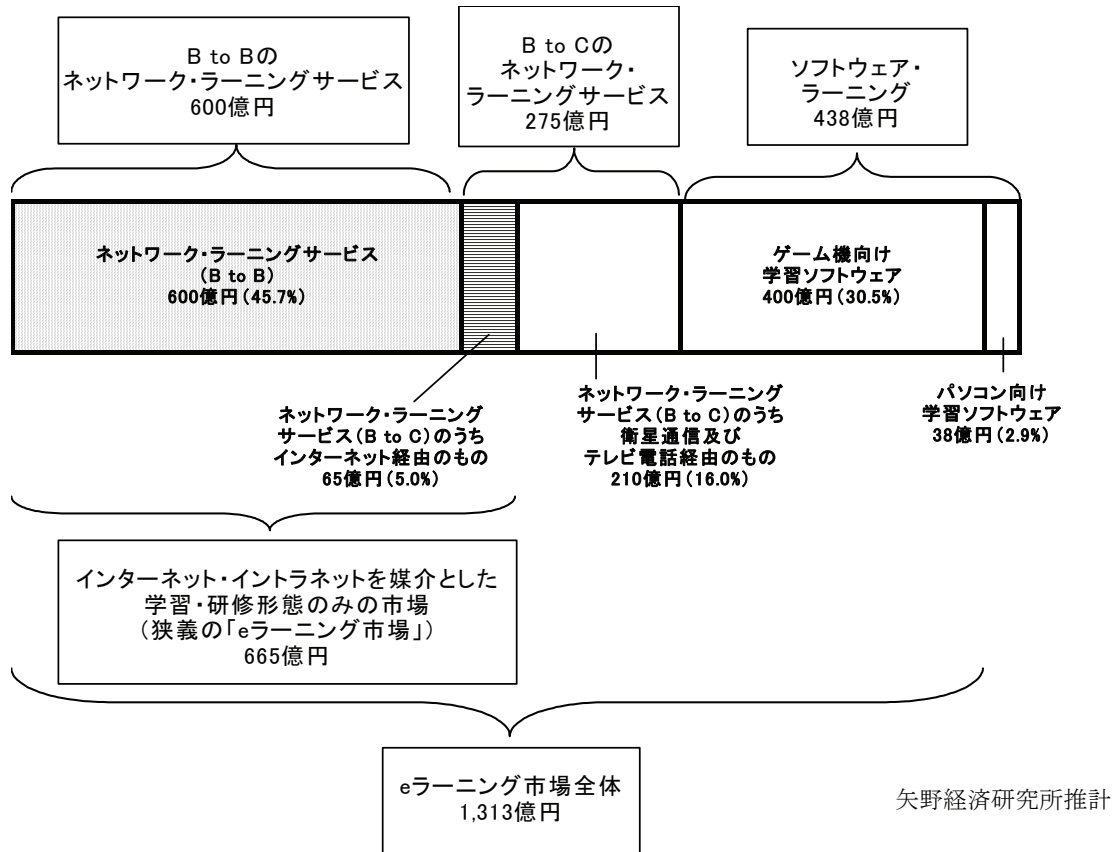
B to B については、不況の影響で研修予算が削られる等により、縮小が懸念されるものの、優秀な労働力を育てたいという需要は不変であり、交通費・移動費の削減といった経費削減の観点から、集合研修を eラーニングに切り替えることが期待され、縮小幅はそれほど大きくないと推察する。

B to C についてはコンテンツの多様化、家庭における IT 化の進行等により伸びが期待される。

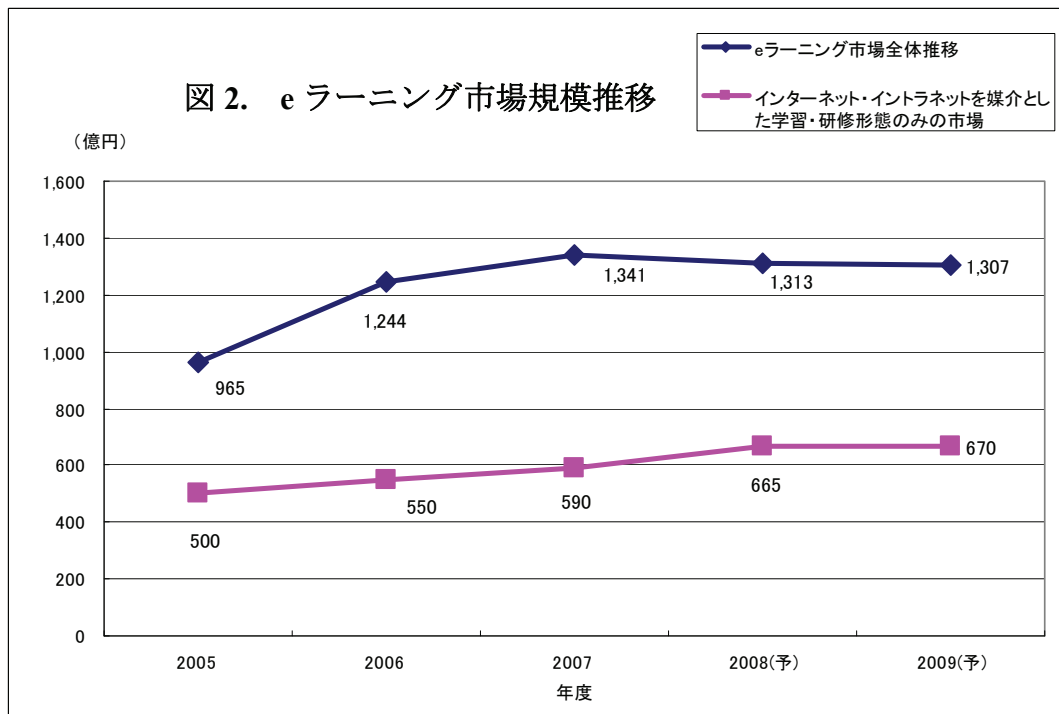
また、ゲーム機向けソフトウェア・ラーニングについては、07 年度をピークにブームは去りつつあるものの、ゲームの 1 ジャンルとして定着しており、一定の市場規模を保つと予測する。パソコン向けソフトウェア・ラーニングはここ数年間縮小が続いているが、規模自体が小さく、市場全体に与えるインパクトは少ないと考える。

以上から、今回の景気悪化が国内 eラーニング市場に与える影響は、他業種に見られるようなレベルにはないと思われるが、市場拡大の妨げにはなっている模様である。だが、前述したように、ゲーム機向けソフトウェア・ラーニング市場の規模は 07 年度がピークとなっているものの、「ゲーム機で学習する」という学習スタイルは確実に定着しており、ソフトウェアのみならず、インターネットを通じて配信されるゲーム機向け学習コンテンツの普及も今後期待されるため、「国内eラーニング市場」は、堅調に推移していく見込みである。

図1. 2008年度の分野別eラーニング市場と構成比



注 3: ネットワーク・ラーニングサービスは売上金額ベース、ソフトウェア・ラーニングはメーカー出荷額ベース  
 注 4: 2008年度見込値  
 注 5: (%)は構成比



注 6: ネットワーク・ラーニングサービスは売上金額ベース、ソフトウェア・ラーニングはメーカー出荷額ベース  
 注 7: (予)は予測値